

“風待湊” 須賀利に巡航船で出かけませんか？ 尾鷲市須賀利漁港



写真提供：須賀利漁業協同組合

三重県尾鷲市は馬越峠と八鬼山に挟まれた旧尾鷲(おわし)町を中心に、北は須賀利、南は大曾根浦、九鬼、早田、三木浦、古江、曾根、梶賀などの小さな漁業集落が、そのリアス式海岸の入り江に点在しています。今回はそのなかでも、とりわけ、昔ながらの漁村風景や独特の文化を色濃く残し、最近外からの注目を得ている集落、“須賀利”をご紹介します。



須賀利町(漁港)は、周りを紀北町海山区(旧海山町)に取り囲まれた、いわゆる“飛び地”で、昭和57年に県道が開通するまで、険しい山(古道)を歩いて越えるか、巡航船を利用するしか交通の便がありませんでした。水深40メートルの深い入り江の奥に沿って細長く伸びた小さな集落ですが、細い路地に沿って密集した住居、坂道、石積み、雛壇の人家など、どこかしら懐かしい風情が特徴です。人口350人余りのこの町では、せわしい外界を忘れさせる程の静かでのんびりゆったりとした時間が流れています。

町内の左右の小高い部分に、お寺(普済寺)と神社(高宮神社)があり、そこから眺める屋根瓦の並んだ風景は、幾人もの有名な写真家の作品としてポスター、写真集等で紹介されたり、NHKの連続ドラマ「旅路」のロケ地になったこともあります。近年では尾鷲港からの巡航船を利用して集落を訪問し、獲れたての魚介類や、押し寿司などの地元料理体験に、写真撮影やスケッチなどを絡めたツアーが行なわれるなど、密かなブームを呼んでいます。

かつての『風待湊』須賀利、昔ながらの巡航船に乗って皆さんも一度訪問されてみてはいかがでしょうか。



← 漁業がさかんな須賀利では、古くからエビ網や定置網が盛んですが、平成に変わる頃からマダイ養殖が盛んになり、より天然に近い高品質なマダイとして人気があります。

巡航船時刻表	片道料金	大人	小人	
尾鷲港発	8:00	12:30	15:50	17:00
須賀利発	7:00	8:30	13:10	16:30

(巡航船に関するお問合せ)

尾鷲 TEL:0597-22-0302

須賀利 TEL:0597-26-2036



※日曜日は休航(但し、15名様以上の予約があれば運航可能)

熊野古道沿いの宿 ～巡礼者を迎える人々～

三重県立熊野古道センター

コーディネーター 縣 拓也

1. はじめに

熊野古道が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されてから、まもなく4周年を迎えようとしています。古くから熊野三山、西国霊場を目指す巡礼者たちが通った道と、人間の営みとの調和によって育まれた古道周辺の自然とが、文化的景観として高い評価を得た結果、現在でも多くの方々が古道歩きを楽しまれています。

熊野古道伊勢路を訪れた人々を、地域の人々が受け入れ、時にはもてなし、時には助けながら古道を歩く人の列は現在まで続いてきました。これからも、迎える側としての我々の心構えが重要になってくることと思います。そこで今回は、むかしの宿を中心とした、旅人と地域の人々との関わりあい、交流について触れることにより、今後の取り組みを考えるうえでの一助となれば幸いです。

2. 熊野古道沿いの宿泊施設

そもそも熊野古道を旅する人たちはどのようなところに泊まっていたのでしょうか。大きくはお金を払って旅籠や木賃宿に泊まる人、そのほか、一般の民家に泊まったり、野宿するような旅人もいたことでしょう。木賃宿とは米と薪代を払って自炊する安価な宿泊施設です。

昔の旅日記である道中記をみてゆくと、食事や昼の弁当がでる旅籠の宿泊料がおおむね約120文～250文ほどであるのに対し、木賃宿は50文～100文程度でした。尾鷲では、木賃宿として大石屋や吉野屋、近江屋など、旅籠で浜田屋、大和屋、伊勢屋などが、また、木本では旅籠の赤倉屋、鈴木屋、山本屋などの名前が、道中記のなかでは見受けられます。

ただし、これらは全く格式の異なる別のものというわけではないように思われます。道中記を書く側の混同もあるかと思いますが、同一の宿であっても人によって両方の呼び名が使われていることは少なくありません。それは時に、全くの同年の記述であったり、宿によってはある時期から木賃宿から旅籠へと記載が変わってくるようになるものもあります。

これらのことから、ひとつには時代が下るに従って木賃宿から旅籠へと形態を変える宿があったこと（その逆もあるかもしれません）。そして、すべてではありませんが、同一の宿であっても泊まる人に応じて2つの形態を使い分けていた可能性が考えられます。

とはいえ、金銭をだして宿泊する旅人は、たとえ木賃宿であってもある程度裕福な層であったと言えます。十分な旅銀を持って長い旅にでる者もいれば、世を捨てて一生廻国を続ける人、救いを求めてなけなしのお金を持って熊野を目指す人など様々な旅人が熊野古道を歩いていました。金銭や食料をほとんど持たないような旅人が泊まる場所として、地域の有力者が自身の家などを無料で提供する「善根宿(ぜんこんやど)」がありました。



熊野市木本の旧熊野街道沿い

3. 古江浦の善根宿

現在の尾鷲市古江町（当時の木本組古江浦）には、遠く九州の諫早から熊野地方を訪れた旅人と、それを迎えた善根宿との交流にまつわるエピソードが、古文書として残されています。

時は文政13年（天保元年、1830）、肥前国諫早船越村（現在の長崎県諫早市）から、妻と子連れで3人で巡礼の旅へとでた杵助さんは、長野の善光寺を参ったあと、西国三十三所の順拝へと向かいます。その途中、古江浦に立ち寄ったとき、杵助さんは急病で「歩行も出来難く」なってしまいました。善根宿をしていた和兵衛さんは、医師の渡辺俊察を呼び、「随分丁寧ニ介抱」して回復を願いましたが、それも叶わず5日目に杵助さんは亡くなってしまいます。杵助さんの亡骸は現地の光明寺に手厚く葬られました。妻子は和兵衛さんから、「あなたがたとはご先祖様よりの因縁もあるのだから、これからの弔いは私に任せなさい」との言葉を受けて、初七日供養まで逗留したのち、故郷諫早へと戻るため旅立って行きます。

妻子は無事に諫早まで帰り、それからしばらくして天保9年（1838）、空助さんが連れていた息子の伊八郎が大きくなったのち、御礼のためにはるばる古江浦を訪れています。巡礼を迎えた人々の心遣いにより、九州の最西端と熊野という長い距離を越えて結ばれた絆について、私たちは永く語り継いでゆくとともに、今後の熊野古道を取り巻く活動のなかで、心に留めておかなければなりません。



尾鷲市 古江浦の町並



空助さんが葬られた光明寺



古江浦に残る善根宿の
関連文書（個人蔵）

4. おわりに

熊野古道センターでは、昨年2月の開館時から約2ヶ月間、開館記念特別展として「絵図にみる巡礼道中の人々」を開催しました。そのなかでは、熊野古道沿いの宿に関わる資料として、前述した古江浦善根宿の古文書や、熊野市木本に今も建物が残る酒甚（さかじん）で使われていた、獅子巖の描かれた朱塗りのお膳、始神峠の麓（紀北町海山区馬瀬）の江戸屋で使用されたお膳とモロブタ（食べ物を運んだり、ついた餅などを広げる浅い木箱、文化3年の年号入り）、屋号入りの徳利、曾根浦の福嶋屋でかかっていた看板などを展示しました。

今後、これらの資料を一堂に会して、巡礼者たちを迎えた宿や人々に関する企画展も開催することができれば、より多くの方々に、熊野古道の姿をより立体的に感じていただくことができるのではないかと考えております。是非、宿屋やその関連する資料についてなにかご存知のことがありましたら、熊野古道センターまで情報をお寄せいただければ幸いです。



伊勢路友の会状況報告

昨年、会員の皆様を実施させていただいたアンケート調査で、希望の多かった熊野古道と周辺のツアーを今秋に企画したいと考えております。おって連絡をさせていただきますので是非ご参加下さい。これからも熊野古道・伊勢路友の会をどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成20年7月14日現在 個人会員数 321名、法人会員数 12団体

夏～秋 東紀州イベント情報

紀北町	開催日	イベント名	お問合せ先	お問合せ先電話番号
	7月26日	2008きほく燈籠祭 幸せを招く祭り	紀北町燈籠祭実行委員会	05974-7-5378
	8月9日	2008きほく夏祭りKODO	2008きほく夏祭りKODO実行委員会	0597-32-3905
	8月24日	馬越峠夏祭り	体験事業実行委員会	05974-7-5378

紀宝町	開催日	イベント名	お問合せ先	お問合せ先電話番号
	8月15日	紀宝町花火大会	紀宝町企画調整課	0735-33-0334
	8月16日	平尾井薬師盆踊り	紀宝町企画調整課	0735-33-0334
	毎月第2・4日曜日	紀宝朝市	紀宝町ウミガメ公園	0735-32-3686

夏～秋 東紀州イベント情報

熊野市	開催日	イベント名	お問合せ先	お問合せ先電話番号
	7月26・27日、8月2日	くまのベースボールフェスタ学童軟式野球大会	熊野市観光スポーツ交流課	0597-89-4111(代)
	7月27日	紀伊半島ビーチバレーボールフェスタin Atashika 2008	熊野市観光スポーツ交流課	0597-89-4111(代)
	8月2日	紀和の火祭り	熊野市観光スポーツ交流課	0597-89-4111(代)
	8月3日	紀伊半島太鼓フェスタ「響鼓 in 熊野」	熊野市観光スポーツ交流課	0597-89-4111(代)
	8月15日	遊木追善花火大会	熊野市観光スポーツ交流課	0597-89-4111(代)
	8月15日	新鹿観光追善花火大会	熊野市観光スポーツ交流課	0597-89-4111(代)
	8月15・16日	ジャジャツクと火とぼし行事	熊野市観光スポーツ交流課	0597-89-4111(代)
	8月17日	熊野大花火大会	熊野市観光スポーツ交流課	0597-89-4111(代)
	8月23・24・30日	くまのベースボールフェスタ(中学の部)	熊野市観光スポーツ交流課	0597-89-4111(代)
	9月5日～9月7日	日本女子ソフトボールリーグ2部第4節	熊野市観光スポーツ交流課	0597-89-4111(代)
9月中旬	千枚田オーナー 稲刈りの集い	熊野市地域振興課	05979-7-1115	

御浜町	開催日	イベント名	お問合せ先	お問合せ先電話番号
	8月24日	熊野古道 浜街道 観察会	紀南地域活性化協議会	05979-3-0517

尾鷲市	開催日	イベント名	お問合せ先	お問合せ先電話番号
	7月21日	かかり作りコンテスト(農事生産塾「向井の里」主催) (おめでとう!世界遺産4周年記念イベント)	まちかどHOTセンター	0597-23-8221
	8月2日	おわせ港まつり	尾鷲市新産業創造課	0597-23-8223
	8月3日	三木里海水浴場ビーチフラッグ・砂の芸術イベント	三木里地区観光協会	0597-28-3046
	8月16日	三木里地区供養花火大会	三木里地区観光協会	0597-28-3046
9月15日	八幡神社祭礼	尾鷲市新産業創造課	0597-23-8223	

夏～秋 東紀州イベント情報

開催日	イベント名	お問合せ先	お問合せ先電話番号
7月19日～9月8日	夏の企画展「熊野の匠たち—その手に業あり—」	三重県立古道センター	0597-25-2666
7月27日・8月3日	ひのきアート教室「木杵行灯作り」(2回連続講座)	三重県立古道センター	0597-25-2666
8月3日	東紀州の四季を味わう料理教室	三重県立古道センター	0597-25-2666
8月2日	熊野どきどき体験学校 「どきどきトロッコ体験と熊野洞窟アニメ上映会」	三重県立古道センター	0597-25-2666
8月10日・8月24日	<企画展付属企画> 手業に学ぶ!① 「森の守り神・トチに触れよう～木工職人体験～」	三重県立古道センター	0597-25-2666
8月14日	シダの拓本作り	三重県立古道センター	0597-25-2666
8月23日	<企画展付属企画> 手業に学ぶ!② 「日本一の漆黒岩石～那智黒石職人体験～」	三重県立古道センター	0597-25-2666
9月6日	熊野古道講座5「巨木と南朝史跡」	三重県立古道センター	0597-25-2666
9月7日	カヌーで行く!! 海の熊野古道(三木里～曾根)	三重県立古道センター	0597-25-2666
9月20日～10月19日	絵画を巡る旅 三重県立美術館優品コレクション展	三重県立古道センター	0597-25-2666
9月28日	ひのきアート(大福と木ナイフ・月見の宴)	三重県立古道センター	0597-25-2666
9月21日	東紀州の四季を味わう料理教室	三重県立古道センター	0597-25-2666

熊野古道センター

熊野古道センター企画展

「熊野の匠たち —その手に業あり—」

期間：平成20年7月19日(土)～9月8日(月) 午前9時～午後5時、
会期中無休

入場無料、開館時間：午前9時～午後5時

場 所：展示棟 企画展示室

主催：三重県立熊野古道センター

〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4

TEL：0597-25-2666/FAX：0597-25-2667

<http://www.kumanokodocenter.com/>



尾鷲わっぱ (ぬし熊・尾鷲市)



川舟(谷上舟大工・紀宝町)

発行元 熊野古道伊勢路友の会事務局 東紀州観光まちづくり公社 〒519-3695 尾鷲市坂場西町1-1
TEL 0597-23-3784 FAX 0597-23-3785

東紀州観光まちづくり公社のホームページを公開中。URL: <http://higashikishu.org/>